

## 校歌うたえますか？

新学期をむかえ、児童・生徒のみなさんは新たな気持ちでいっぱいではないですね。

先日、方言調査で幸地にうかがったところ、ひよんなことから戦前の小学校校歌とその振付けまで披露していただくことになりました。

与那嶺キヨさん・仲宗根政子さん・外間キヨ子さんは、ともに西原の学校（当時は西原国民学校）へ通っており、運動会には在校生全員で校歌に振付けをして踊ったそうです。戦前の話ですから、かれこれ六〇年ほど前になります。みなさんきちんとおぼえているんですからおどろきです。



踊りをおぼえている与那嶺さん

西原に学校ができたのが明治一五年で、校歌が制定されたのは昭和一五年。当時は西原尋常高等小学校という名称

で、翌年から西原国民学校に変更されました。作詞は世礼国男・作曲が備瀬知範となっています。もちろん現在の西原小学校校歌とは違う歌ですが、その時代を見事に映し出した歌詞となっています。

「伊保の浜辺に兼久のコハデス」↓戦前、我謝馬場のコバティシ並木は有名だった。

「みのり豊けき甘蔗の波に農産業の進歩も著しく 海外に飛躍をしつつ」↓戦前から西原には製糖工場があり、キビ栽培が盛んだった。同時に多くの海外移民者がいた。「わが皇のみことかしこみ」↓天皇をたたえている。

もちろん「運玉森」もはいつてます。それを今でもおぼえているなんて本当にスゴイ。



校歌を歌う仲宗根さんと外間さん

みなさんは、自分が卒業した小学校の校歌を今でも歌えますか？